

平成25年度事業報告

デイハウス きい家 はなれ

今年度は利用実績が目標数値を達成したものの、季節での波は変わらずみられ、特に桜の間については1日5ベッド稼働を目標として掲げていたが、十分な利用実績を得られなかった。こちらについては、次年度でも引き続き目標数値とし、達成に向けての人員配置、介護士、看護師との連携方法についても見直す必要がある。

平成24年度の介護保険法改正に伴う新たな営業時間が定着し、1日の活動内容も個別性を生かしたものになってきている。利用者の生活動作の維持、向上に資する活動や訓練も取り入れることができ、地域での小規模通所介護としての役割を果たせているのではないかと考えます。

来年度も、当事業所の特色を生かし、更なるケアの質の向上を図っていけるよう研鑽します。

反省・評価

① 相談業務について、

- 例年と同様に季節によって利用実績に波があり、特に冬場の利用者数に落ち込みが見られた。改善策を模索する必要がある。
- 通所介護計画書の作成、評価は滞ることなく実施できた。
- 現場から家族への情報伝達、ケアマネージャーへのこまめな情報提供が十分でなく、家族やケアマネージャーからの苦情を受けることがあった。
- 相談員の入れ替わりもあり、十分な育成が出来なかった。

② 介護業務について、

- はなれ開設当初からの家庭的なプログラムが提供でき、ケアの質の向上が図れた。
- 利用者の特技や趣味に沿ったレクリエーションプログラムを起案し、提供するこ

とができた。

- さくらの間の利用者様に対する活動参加へのアプローチが消極的であった。
- さくらの間との連携が不十分であり、業務スケジュールの見直しが必要である。フォロー業務の業務内容を明確にする必要性がある。

③ 看護業務について、

- 各職員の希望に沿って、外部の研修へ参加できる機会がもてた。今後も継続していく必要がある。
- 今までの4ベッド稼働から5ベッド稼働へ受け入れ人数を増加できた。
- 医療依存度の高い方の積極的な受け入れが継続しておこなえた。

※以上、評価・反省を踏まえ次年度もより良い通所介護を目指すよう努めていきます。

◎ 1年間の主な活動内容

実施月	活動内容
4月	お花見（国友堤防沿い）
5月	
6月	
7月	七夕祭り（桶そうめん）
8月	納涼祭
9月	敬老会
10月	運動会
11月	
12月	忘年会、餅つき
1月	初詣
2月	節分
3月	ひな祭り

※各月お誕生日会

※制作活動として、季節の飾り、季節のおやつ、昼食作りなど

※レクリエーション等でのボランティア受け入れ及び依頼

- ・絵本よみきかせ
- ・江州音頭
- ・琴、ギターの演奏会 等々

平成25年度 デイハウス きい家はなれ 外部研修参加記録

月 日	研修名	主催	参加職員
4月			
5月 22日	介護保険事業者研修会(第3回)	滋賀県湖北健康事務所	総主任相談員 坂田 健一 看護職員 恩田 幸江
6月 19日	介護事業所運営の今後のあり方について	介護労働安定センター	管理者 富士原 潤一郎
7月 29日	福祉サービス苦情対応研修	滋賀県運営適正化委員会	管理者 富士原 潤一郎
8月 9日	事業所環境改善のための労務の基本	介護労働安定センター	管理者 富士原 潤一郎
29日	疥癬にかかる感染拡大防止対策研修会	滋賀県湖北健康事務所	管理者 富士原 潤一郎
9月 11, 12日	高齢者の人権および身体拘束廃止研修会	老人施設協議会	総主任相談員 坂田 健一
10月 9日, 23日	ソーシャルワークの基礎と展開	福祉人材・研修センター	総主任相談員 坂田 健一
11月 28日	口腔機能向上セミナー	湖北歯科医師会	介護職員 山口 さとみ
3 13日	要介護度改善啓発シンポジウム	介護サービス事業者協議会連合会	管理者 富士原 潤一郎
12月 12日	通所部会 リンパマッサージ研修	湖北事業者協議会	介護職員 別府 江理子 介護主任 柳田 朋良
2日	感染予防対策研修会	湖北地域感染症予防プロジェクト	看護職員 中山 景子
19日	介護技術基礎研修	福祉用具センター	介護職員 川瀬 美礼
1月 12日	滋賀県認知症医療とケアフォーラム		総主任相談員 坂田 健一

2月 27日
3月

介護技術基礎研修

福祉用具センター

介護職員 上田 千晶

平成25年度デイハウスきい家、はなれ内部研修 実施記録

4月15日	接遇研修	担当 藤村	参加職員 12名
5月13日	非常災害時の対応について	担当 坂田	参加職員 19名 (法人全体で)
10月8日	苦情対応について	担当 坂田	参加職員 17名
12月20日	感染症対策について	担当 脇坂	参加職員 11名
2月6日	認知症研修	担当 脇坂、西野	参加職員 14名
2月20日	認知症研修	担当 脇坂、西野	参加職員 11名